



なにわの伝統野菜への影響1

実施内容

大阪府域で身近な「なにわの伝統野菜」を通して、温暖化と農作物や私たちの生活の係わりについて理解し、気候変動適応に関する気づきについて、紙芝居の手法を用いて表現する体験を行います。

POINT

- ・身近な農作物を通して、気候変動による影響を学びます。
- ・紙芝居の表現体験を通して適応の理解を深めます。

留意点

- ・農業における影響と適応策は理解しやすいが、自分たちの生活における適応への気づきに結びつけることが難しい。
- ・おおさか気候変動「適応」ハンドブックを活用した座学等を組み合わせることで、健康や府民生活・都市生活などの生活に関連した適応についても知ってもらうことが有効。



平均所要時間	定員
2時間	40名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式 画用紙、水性マーカーなど	自治体



▲紙芝居のワークショップと発表

*ハンドブックP13もご覧ください

地域や暮らしへの影響1

実施内容

気候変動による野菜の生育不良や大阪ぶどうの着色不良などを課題として取り上げ、地域や暮らしの中での適応について普及啓発していく方法を学びます。

POINT

- ・農業や農作物等への影響に対し、栽培条件の整備や品目変更など適応事例を紹介します。
- ・食を通して温暖化「適応」を理解することで、参加者の行動変容につなげます。

留意点

- ・農業における影響と適応策は理解しやすいが、自分たちの生活における適応への気づきに結びつけることが難しい。
- ・おおさか気候変動「適応」ハンドブックを活用した座学等を組み合わせることで、健康や府民生活・都市生活などの生活に関連した適応についても知ってもらうことが有効。



平均所要時間	定員
3時間	20名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲農業、森林・林業についての気候変動の影響と適応策の学習

*ハンドブックP13もご覧ください



なにわの伝統野菜への影響2

実施内容

大阪府域で身近な「なにわの伝統野菜」を使った野菜の収穫や料理を通して、温暖化と農作物や私たちの生活の係わりについて理解し、生活の中における温暖化への「適応」について考えます。

POINT

- ・身近な農作物への温暖化の影響のお話をきき、収穫や試食の体験を通して温暖化の影響を学びます。
- ・身近な食材から生活を振り返り、適応について考えます。

留意点

- ・農場の下見や、収穫体験指導者との打ち合わせが必要。
- ・天候に左右されるため、露地栽培の現場体験を行う際には、中止時の連絡体制や対応などを決めておくことが望ましい。



平均所要時間	定員
2時間	40名程度
準備物	実施団体
野菜の収穫体験などが可能な農場及び、セミナーが可能なスペース	自治体



▲セミナー

▲収穫体験

*ハンドブックP13,22もご覧ください

地域や暮らしへの影響2

実施内容

ブナ林への影響やいかなごの減少など多様な生き物生息環境が損なわれ生物多様性の豊かさが失われつつあることを課題として取り上げ、地域や暮らしの中での適応について普及啓発していく方法を学びます。

POINT

- ・水産分野では魚種変更、養殖等、自然生態系ではモニタリングへなどの適応事例を紹介します。
- ・地域の環境NPOの活動として、里山保全活動や植生モニタリングなどを紹介します。
- ・地域や暮らしの中では、暑さ対策としての水分補給などを促します。

留意点

- ・自然生態系への影響と適応策は理解しやすいが、自分たちの生活における適応への気づきに結びつけることが難しい。
- ・おおさか気候変動「適応」ハンドブックを活用した座学等を組み合わせることで、健康や府民生活・都市生活などの生活に関連した適応についても知ってもらうことが有効。



平均所要時間	定員
3時間	20名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲水産業、自然生態系についての気候変動の影響と適応策の学習

*ハンドブックP13,15,17,20もご覧ください





温暖化の影響と里山の森を守る活動

実施内容

森林や里山の保全活動体験の実施や、森林保全・里山保全・農作物の影響への配慮などに関するセミナーを通じて、里山をテーマにした地球温暖化の影響について考えます。

POINT

・人々の暮らしを支える大切な資源である里山の保全活動が、地球温暖化の適応にもつながることを学びます。

留意点

- ・森林保全のフィールド、森林保全の指導者や道具の確保、安全面への配慮が必要。
- ・天候に左右されるため、中止時の連絡体制や対応などを決めておくことが望ましい。



平均所要時間	定員
2時間	20名程度
準備物	実施団体
草刈り機など	自治体



▲森の中でセミナー



▲森林保全体験

*ハンドブックP13,22もご覧ください

食の適応策

実施内容

農作物をはじめとした「食」に関するゲーム(神経衰弱ゲーム)やクイズを通して気候変動影響について理解を深め、参加者が各々取組める適応策とはなにかについて考えます。

POINT

私たちに身近な「食」をテーマにした気軽に取り組めるゲームやクイズを通じて、個人でもできる適応策について学びます。例)体を冷やす食材、温める食材、災害に備える備蓄についてなど

留意点

- ・イベント出展の場合、一人あたりの体験・理解の時間が短く、参加者へ解説資料を配布するなど補助的な工夫が必要。
- ・ゲームの中でも、適応について考えてもらえるよう、ヒントを与えることが有効。



平均所要時間	定員
6時間 (時間内自由参加)	400名程度
準備物	実施団体
イベント出展 (必要に応じて資料など)	自治体



▲気候変動に適応するために、身近で出来そうなことは何だろうか？

*ハンドブックP13,21もご覧ください



里山地域での適応策

実施内容

里山をテーマにした気候変動の影響について、セミナーにより自然災害の観点から学ぶとともに、森林保全や水源保全活動が適応策であることをワークショップを通じて考えます。

POINT

- ・里山地域での気候変動の影響について学びます。
- ・森林保全や水源保全等の活動が適応に関する取り組みであることを知ってもらいます。

留意点

・里山地域において意識せずに行っている活動が、適応の取り組みであることがわかるような具体的な説明をするなど、適応への気づきを与える工夫が必要。



平均所要時間	定員
2時間	20名程度
準備物	実施団体
オンラインセミナー 準備一式	自治体



▲森林整備

*ハンドブックP13,15もご覧ください

コラム 暮らしの中での「適応」1 暑さ対策

暑さから身を守る3つの習慣

涼む：暑さをしのぐ「クーラーの利用」

- 自分の感覚だけに頼らず、部屋の温度・湿度を確認し、クーラーを調節しましょう。
- 外出先では涼しい場所で休息を取りましょう。

気づく：暑さを知らせる「情報の活用」

- 「暑さ指数^{*1}メール配信サービス」など、暑さの危険を知らせてくれる無料^{*2}サービスを活用しましょう。

備える：暑さに強い「からだづくり」

- 水分や塩分の補給をこまめに行いましょう。
- ウォーキングなどの汗をかく運動を継続して行いましょう。



*1 暑さ指数(℃)とは、気温・湿度なども考慮した熱中症予防のための数値です。
*2 情報取得にかかる通信料は利用者の負担となります。



暑さに備えるその他の習慣

みどりのカーテンづくりで室内への日光を遮りましょう。

大阪府暑さ対策情報ポータルサイト

暑さを知らせる情報を提供するサービスや、暑さから身を守る取組み、行政の取組みなどの情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。

大阪府 暑さ対策 検索



*ハンドブックP17,20もご覧ください